

イベント情報のお知らせ

菊池正氣 + 小山欽也

COLLABORATION 「西ノ内紙との出会い」

2018年2月21日(水)～3月4日(日)

江戸時代に水戸藩の特産品として広く愛好され、茨城県の指定無形文化財*1である西ノ内紙。その伝統的な技法を次世代に継承している紙漉き職人の菊池正氣氏と、紙を使ったアートな試みで制作活動を行う紙造形家の小山欽也氏、2人によるコラボレーション展。

奥久慈の自然が生み出す最高品質の原料・那須楮(なすこうぞ)と伝統技術によって作られる西ノ内紙の魅力を紹介するとともに、菊池氏による紙布(しふ)*2作品や、小山氏による紙布と紙衣(かみこ)*3を用いた作品など約20点を展示します。

また、会期中にはワークショップも行います。

*1=この他、国の「記録作成等の措置を講ずべき無形文化財(選択無形文化財)」にも選択されている。
*2=紙を材料にして織り上げた布。 *3=和紙をコンニャク糊で張り合わせ、着物仕立てにしたもの。



西ノ内紙の紙漉きの様子(菊池正氣氏)



小山欽也氏による紙布作品

- ◇展覧会名： 菊池正氣+小山欽也
COLLABORATION 「西ノ内紙との出会い」
- ◇会場： タチカワブラインド銀座スペース オツテ
- ◇期間： 2月21日(水)～3月4日(日) ※2/26(月)は休館
- ◇時間： 10:00～18:00 ※最終日は16:00まで
- ◇入場： 無料
- ◇主催： 小山欽也・菊池正氣
- ◇協力： 立川ブラインド工業株式会社

「紙布と紙衣のワークショップ」開催

2/24(土)・25(日)・3/3(土)・4(日)

先着10名程度 <参加費無料>

【菊池正氣(きくちせいき)】

1945年 茨城県生まれ。紙のさと和紙資料館館長。

1963年より家業の西ノ内紙の紙漉きに入り、三代目として伝統技法を継承。また、和紙の文化を次世代に残すための活動にも尽力。文化庁「紙布講座」講師を務める他、1988年には国際交流基金の助成で、アメリカ各地の大学で和紙の紹介を行うなど国際交流も行っている。

【小山欽也(こやまきんや)】

1946年 茨城県生まれ。紙造形家・女子美術大学名誉教授。

東京造形大学デザイン学科卒業後、凸版印刷(株)勤務や日本デザイン専門学校講師などを経て、女子美術大学で長く紙造形の指導にあたり、現在よみうりカルチャー講師を務める。

同郷である西ノ内紙の紙漉き三代目の菊池正氣氏との出会いにより、新しい和紙のアートな試みで作品制作を続け、サンフランシスコ和紙工芸展(1993年)をはじめとした展覧会への出品や個展などを通じ、国内外で数多くの作品を公開している。

Tachikawa Blind
Ginza Space

Atte

タチカワブラインド銀座スペース Atte(オツテ) 概要

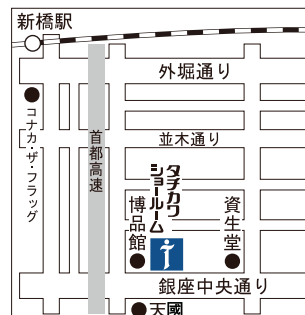
タチカワブラインド銀座ショールーム地下1階にある文化・芸術の情報発信のための多目的スペース。会場費無料で利用可能。

所在地：東京都中央区銀座8-8-15 タチカワブラインド銀座ショールームB1F

アクセス：JR・東京メトロ銀座線「新橋」駅より徒歩5分 銀座4丁目交差点より徒歩8分

電話：03-3571-1373

開館時間：10:00～18:00 ※休館日 月・祝日(土日除く)



この資料に関する報道関係のお問い合わせ 総務部 法務広報課：稲垣、荒木

TEL:03-5484-6152 FAX:03-5484-6205 E-mail:koho@blind.co.jp

タチカワブラインド ホームページ <http://www.blind.co.jp>